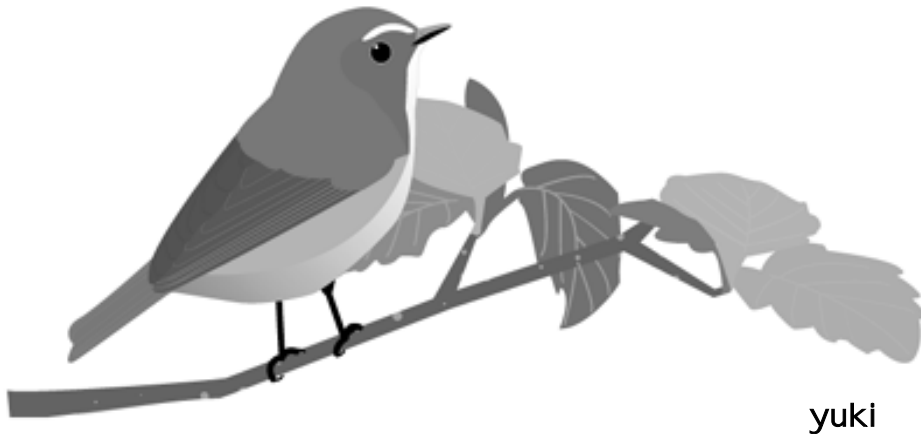




ネイチャーセンターだよりを一部刷新することになりました。これまで以上に見やすく楽しい通信誌にしていきたいので、かわらずご愛読いただけますようお願いいたします。(K)

ルリビタキ Red-flanked Bushrobin

春国岱のアカエゾマツの森を歩くと、「ヒッヒッヒッ ガッガッ」「ピヒョロピヒョロヒョロヒョロ」と、少し細かい音が聞こえてきます。よく見ると背の高さより低いところで、何かがチラチラ動いています。青い小鳥、ルリビタキがいました。そのまま見ていると、低い枝から低い枝へ飛び移り森の奥へと姿を消していきました。暗い森の中に、輝く「青」が森の宝物のように見えました。



yuki

春国岱を訪れる「青い」鳥は、他にオオルリやコルリがいます。しかし、この種類は鳥が大移動する「渡り」の時期(春や秋)に、少し立ち寄るだけでめったに見ることが出来ません。今、春国岱で見られる青い鳥ルリビタキに会いにきませんか。(K)

6月・7月のイベント

セミナー

自然と人をつなぐボランティア入門講座

【日時】6月20日(日)

9:30~16:00(雨天中止)

【申込】6/17まで

【定員】先着20名

【概要】根室は自然の宝箱。この自然を多くの人に伝え、自然と人の仲を取り持つボランティアをしてみませんか?特別な知識や経験は一切いらぬ初心者対象の講座です。



自然観察入門

海のいきもの見つけにいこう!

【日時】7月31日(土)

8:30~12:00(悪天候中止)

【申込】7/30まで

【定員】先着20名

【概要】風蓮湖周辺の海は「いきものの宝箱」。塩の引いた海岸で海辺のいきもののヒミツを探ってみよう。イソギンチャクやヤドカリ達を見つけれられるかな?



イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ!

電話 0153-25-3047

イベントは全て事前申込みが必要です。申込締切までに電話か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。

自然予報

6月に見られそうな鳥・花

== 上旬 ==

- <鳥> ノゴマ・ノビタキ・コマドリ・ルリビタキなど、夏鳥たちのコーラスでにぎわう
ウソのペアがタンポポの種を食べにネイチャーセンターの周りにもくるかも
- <花> ニリンソウが開花



== 中旬 ==

- <鳥> ホウロクシギ・アカアシシギが見られるかも
ノゴマのさえずりがよく聞かれる
ショウドウツバメが飛びかう
- <花> シウリザクラ・ウミミドリが開花



== 下旬 ==

- <鳥> クマゲラの出現頻度が高くなる
アマツバメ・ハリオアマツバメが飛び交う
- <花> ハマナスが見頃
ヒオウギアヤメ開花
ハマエンドウ開花



おもしろ自然コーナー

タンチョウの子育て 「生き残るのは大変」

タンチョウのヒナは、生後1週間くらいで半分がいなくなってしまう。キツネやカラスなどの天敵に食べられたり、雨が続いて弱って死んでしまうこともあるようです。研究者によると、生まれたヒナが1年間生き残る割合は、30%ほど！。天気の良い年はもう少し多く、天気が悪い日が続くような年だと、もう少し少なくなるそうです。ヒナが無事に育つのはとても大変なことなんです。

根室半島のある場所では、5月15日、17日と続けてヒナが生まれ、かわいい姿を見せていましたが、18日の朝には2羽ともいなくなりました。どうやらキツネに食べられてしまったようです。残念！

道の駅スワン44ねむろでは、館内の望遠カメラで子育てしているタンチョウを見ることができます。ここも5月下旬には2羽だったヒナが、6月に入り1羽になっていました。はたして残る1羽のヒナは無事に育つことができるのでしょうか？(0)



海・森・湿原からの手紙

～春に思う～

2002年3月まで春国岱ネイチャーセンターのレンジャーを勤めた川崎氏から手紙が届きました。現在、ウトナイ湖サンクチュアリでレンジャーとして勤務され、離れた土地で暮らす中、春国岱・根室への思いを寄せてくださいました。



長く厳しい冬が終りを告げ、北海道の東の果て根室にも遅い春がやってきましたね。丁度今頃はタンチョウの雛が孵り、アサリ堀りが始まった干潟にはミヤコドリが姿を見せているのでしょうか。今日はどんな渡り鳥が来ているだろうか。

センターから毎日、春国岱を眺めるのがとても楽しみでした。一步外へ出れば、ミズバショウの咲く森の奥からコマドリやミソサザイのさえずりが聞こえてきました。きっと今も変わらない春に出会えるのでしょうね。僕にとっての春の一番の楽しみは、実はこんなふうに自然を目や耳で愛でることではなく、舌で味わうことでした。

長男が生まれる前までは、夫婦で毎週のように秘密の場所へ通い、エンゴサクに生まれてギョウジャニンニク、タラノメ、カンゾウ、ハマボウフウと、自然からの恵みを本当にありがたい気持ちで頂戴したものです。離れてみると、そういう暮らしが実に贅沢なものであったことが身にしみます。根室という土地は、人

がヒトに帰ることができる、日本では数少ない場所のひとつなのだと思います。アパートの隣の家に住んでいたおじさんは、人よりヒトに近い御仁でした。決してお金持ちには見えませんでした。僕らが見たことも食べたこともないような物をごく当たり前に入れてきていたし、おいしい食べ方も知っていたし、何よりものを大事に使う心を持っていた。おじさんの生きる力に、憧れさえ感じたものです。

都市という社会システムの中では決して手に入れることのできないものが、田舎にはあります。それは人がヒトとして生きていく力なのです。都市は崩壊しても再生できるけれど、自然のシステムは直せない。なぜ命は大切なのか。その答えもやはり、かけがえのない自然と対峙することでしか、人は学べないものなのです。

ウトナイ湖サンクチュアリ
チーフレンジャー 川崎慎二



しぜんじょうほうばん 自然情報板

マイツルソウ

葉っぱにある脈の丸みを帯びた曲線が、舞い踊るツルの翼を思わせるような花。針葉樹林に多く見られる花で、白くて小さな花を咲かせます。



ヒバリ

ちょっとした、草地の上空から声がふってくることがあります。それはヒバリ。空高く舞上がり、複雑な声で鳴いているのが見つかるはず！
ピッチュクチュク
ピッ チーチー
ピッピッ !!



コマドリ

漢字で書くと駒鳥。馬のいななきみたいに鳴いています。 ヒンカララララ!!



ヒガラ

ノドに太いチョウネクタイを締めています。細いクチバシを使って、針葉樹の葉の隙間にいる虫をとるのが得意です。森の中で探してみよう。
ピッチー ピッチー ピッチー



ミソサザイ

日本の鳥で、小さい鳥の代表選手。体に似合わぬ、とっても大きな複雑な声で鳴いています。体重約10g！
ピッピッジョイジョイ
チュリリリ !!



=お知らせ=

春国岱の夏は、霧が発生し、森の中は幻想的な雰囲気になります。その一方で、蚊が発生します。肌の露出をさげ長袖などの着用をお勧めします。

観察路の一部に、湿った場所がありますので、長靴の着用をお勧めします。

観察路の木道で、老朽化の進んでいる部分があります。歩くときは足元に十分お気をつけください。



5月24日～6月6日に春国岱周辺で確認された鳥・花

<鳥>

ヒドリガモ	ツドリ	ルビタキ	ヒガラ
オナガガモ	アリスイ	アカハラ	シジュウカラ
トビ	クマゲラ	マキノセンニュウ	ゴジュウカラ
オジロワシ	アカゲラ	シマセンニュウ	アオジ
オオジシギ	オオアカゲラ	エゾムシクイ	オオジュリン
タンチョウ	ヒバリ	センダイムシクイ	ニュウナイスズメ
クイナ	ハクセキレイ	コヨシキリ	コムドリ
オオセグロカモメ	ミソサザイ	キクイタダキ	ハシボソガラス
ウミネコ	コマドリ	エナガ	ハシブトガラス
キジバト	ノゴマ	ハシブトガラ	
カッコー	ルビタキ	コガラ	

<花>

(白)		(紫)	(黄)
ミスバショウ	ハマハタサオ	ハマエンドウ	センダイハキ
マイヅルソウ	エゾクサイチゴ	スミレ	ネムロタンホホ
シロバナスミレ	ヒメイチゲ	チシマウスバスミレ	シコタンキンポウゲ
コヤマカタバミ	ツマトリソウ		キジムシロ
オオバナノエンレイソウ			

ねいちゃーせんたー日記

6月1日 春国岱にはいつもより優しい風が吹いていました。この日、幌茂尻小学校と、海上保安庁の皆さんが春国岱海岸のゴミ拾いをしてくださいました。回収されたゴミの量は約100kg。その中身は、タバコの吸殻、野球ボール、長靴、ロープ、緑のシート、空き缶、ペットボトル等多岐に渡りました。

海は多くの恵みを与え、春国岱は多くの自然の営みを見せてくれる場所。そこで暮らす私達や、動物達の為にもキレイな場所であってほしいと改めて思いました。子供達は、それぞれに、どうしたらゴミがなくなるのか考えてくれて、その考えは今センターに展示されています。皆さんのご協力により、とてもキレイになった春国岱の海岸の夕日が、この日は特別キレイに見えました。

この日参加した生徒のお母さんがセンターにいらして、「子供が帰ってきてから、海岸にゴミがいっぱいあったよ。キレイにしなくちゃねって言ってたんですよ。」とのこと。

ありがとうございました。(K)



スノクの活動

6月の活動予定

12日(土)「スノク月定例ミーティング」

【何をするの?】

・ミーティング(これからの活動予定を決めます)+春国岱木道を散策して自然情報を収集しにいけます。夏鳥達のコーラスを聴きながら、春国岱の森や湿原を歩きます

「各プロジェクト活動」

【何をするの?】

・今月はスノクの活動を紹介する「情報ボード」の作成を行います。



スノクって何?

スノクは春国岱 NC の活動を支援、または発展させるために活動しているボランティアグループです。今年度は、紙芝居の作成や観察会の実施、コンサートの開催などなど...実施予定です。自然の知識がなくても活動には参加できます。**メンバーは随時募集していますので、興味がある方はレンジャーまでお尋ねください!**

「ネイチャーセンターだより」のメール配信のお願い

通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて(ファイル形式は PDF ファイル)配信しています。ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信いたします。

ご希望される方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い申し上げます。

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

10人以上
集まれば!

春国岱ネイチャーセンターの団体向けプログラム

スライド上映 + 春国岱の自然のお話	(25分 / 10~45名)
春国岱・自然学習林での野外での解説	(1~2時間 / 10~20名)
自然学習林のクイズラリー	(1時間 / 10~50名)
タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム	(0.5~2時間 / 10~20名)

その他、ご希望に応じてプログラムをアレンジすることもできますのでご相談ください。

*** 利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。**



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

・入館無料 (双眼鏡無料貸し出しあり)

・開館時間 4~9月 9:00~17:00
10~3月 9:00~16:30

・ホームページ

http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html

・e-mail : nemu_nc@marimo.or.jp

2004.6.発行

6・7月の休館日

* 毎週水曜日はネイチャーセンター休館日です
* 水曜日が祝日の場合、木・金曜日が休館日となります

<6月> 休館日: 2, 9, 16, 23, 30日

<7月> 休館日: 7, 14, 20, 21, 28日

